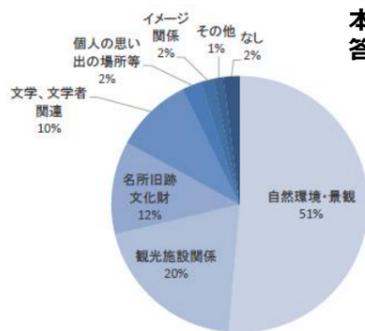


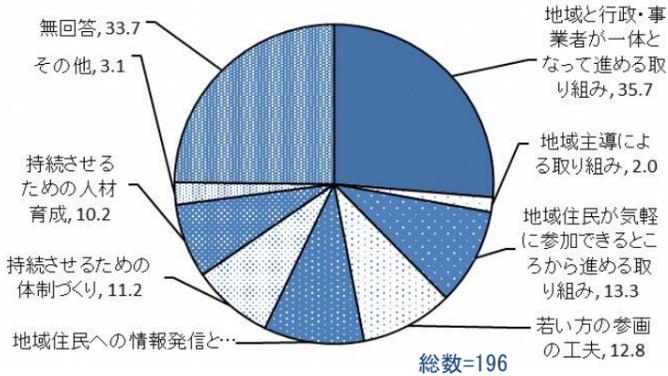
# アンケート集計

本年 8 月に実施したアンケートには、地元の皆さんから、196 件、中学生から 101 件のご回答をいただきました。ありがとうございました。ここで、集計結果をご紹介します。



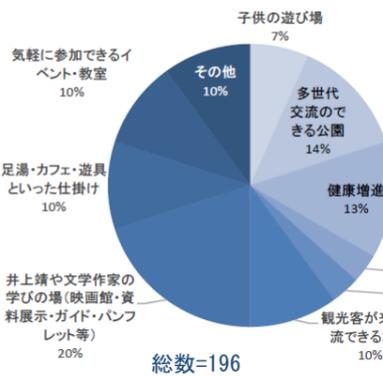
**Q 大切な知人、友人の紹介したい湯ヶ島のおすすめスポット**  
滝や溪谷、わさび田などの自然環境、景観が 127 件、文学、文学者関連が 24 件

自然や景観が魅力として最も上位に挙げられており、文学関連は名所旧跡・文化財に次いで 4 位という位置づけになりました。湯ヶ島地区には多くの文豪ゆかりのもの、文学碑もありますので周知に努めて参ります。



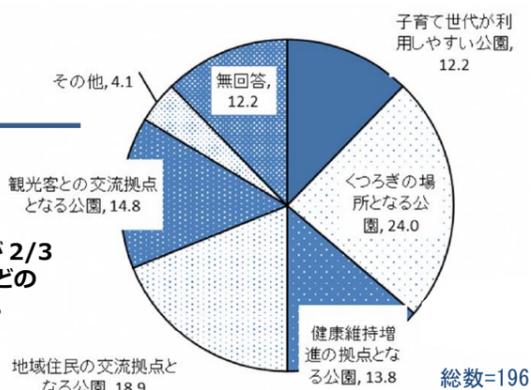
**Q グランドデザインの実現のために重要なこと**  
「地域と行政、事業者が一体となって進める取り組み」が首位

将来あるべき姿に最も重要なことは地域と行政の協働であり、重要としているものは、持続させる体制や、人材育成、若者参画などのご回答が多くありました。無回答もかなりあり、今後、地域との協働を模索しつつ、事業の周知に努めて参ります。



**Q 「こうすれば利用したい」「こんな施設があると嬉しい」というもの**  
(記述式により回答)「文学作家の学びの場」が首位

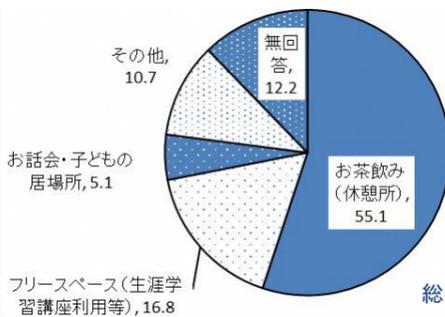
利用促進に向けた意見として、文学の学びの場が最も多く、多世代交流、健康増進、観光交流といった意見が多くありました。



**Q どのような公園がよいと思いますか**

「くつろぎの場所」、「地域住民の交流拠点」などの回答が多かった。

営林署跡地の活用方針の参考意見として、「地元住民のための公園」とした回答が 2/3 を占めました。設備面では、トイレや駐車場のほかに、健康遊歩道、健康遊具などの回答が多く出されており、市民の健康志向のニーズを読み取ることができました。



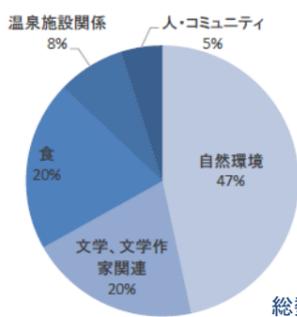
**Q 上の家の活用方法について**

「お茶飲みどころ(休憩所)」、「フリースペース」などの回答が多かった。

上の家の活用方法では、休憩所としての活用方法が過半数以上を占めていました。

**Q 私が好きな湯ヶ島について**

「自然環境」、「文学」などの回答が多かった。

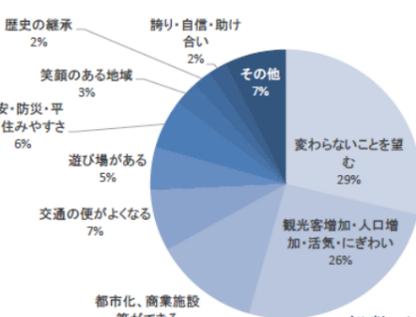


**Q どのような公園がよいのか**

多世代でくつろげる公園が過半数

**Q 20 年後の天城湯ヶ島について**

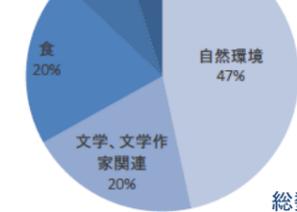
「賑わい」や「変わらない」ことを望んでいる



中学生アンケート

**Q 私が好きな湯ヶ島について**

「自然環境」、「文学」などの回答が多かった。

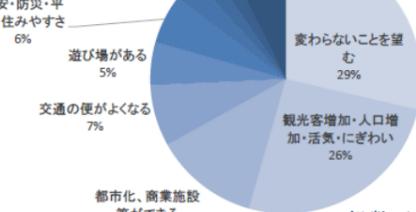


**Q どのような公園がよいのか**

多世代でくつろげる公園が過半数

**Q 20 年後の天城湯ヶ島について**

「賑わい」や「変わらない」ことを望んでいる



## 文学の郷構想の検討が進んでいます

地域づくり協議会(湯ヶ島地区グランドデザイン策定会議)が提出した湯ヶ島地区グランドデザイン提案書の提案に基づき、10年後のビジョンを「文学」の視点から考える「文学の郷構想」の検討がスタートしました。検討は、地域づくり協議会(湯ヶ島地区グランドデザイン推進会議)の皆さんだけでなく、多くの地元有志の皆さんにも加わっていただきながら官民協働で進めており、まずは営林署跡地、上の家について現地調査や具体的な利活用について話し合いを行っています。過日行いましたアンケート結果も反映しながら、文学の郷構想の検討が進められています。



## 文学の郷構想の中で検討を予定しているもの



検討を進める中で、上の家は「縁側カフェ」としての地元住民の交流拠点の一つに。営林署跡地は、地域の健康づくりや賑わいづくりの拠点になる「公園」に整備する方向で話し合いが進み、各々の施設をどのように整備していくか、維持管理にどのくらいのコストがかかり、地元はどのように関わっていけるのかなどの具体的な内容について、現在協議を進めています。今後は、文学まつりに合わせた活用の検討などを経て「湯ヶ島地区文学の郷構想」として、3月末を目途にまとめる予定です。

**募集中**

公園整備を地元から盛り上げ、運営などに積極的に関わってくださるファンクラブ会員を募集します  
公園のイメージを検討しやすくするため公園の仮称の名称(アイディア)も是非お寄せください。  
【申込先】社会教育課 83-5476 または 天城湯ヶ島支所 85-1111

# 営林署跡地活用検討部会

※下の図は、12月4日時点での検討結果を図にしたものであり、整備の確定図面ではありません。今後の検討により随時更新されます。

営林署の跡地については、現在「公園」としての整備で検討を進めています。

- 具体的には、  
 ①地元住民の皆さんが楽しく利用できる公園 ②文学散策の拠点 ③生きいき過ごせる健康づくりの場  
 ④賑わいづくりの場 として、地元の皆さんが主役の「公園」づくりをめざします。



営林署跡地活用検討部会は、どのような使い方をするかイメージしながら、運営・維持管理の方法も含め検討を重ねています。最新の検討結果では、旧湯ヶ島小学校、天城湯ヶ島支所、上の家とこの公園を一つのエリアとして考え、その役割、利用方法について検討したほか、管理運営方法についても様々な手法を検討し、地元の方々と一緒になって運営できるような方法として「ファンクラブ」が立ち上げられました。現在会員を募集しています。皆さんぜひご参加ください!!

# 現地見学会を実施

2つの部会とも机上で議論を交わすだけでなく、実際の現場を見て考えようとの意見が一致し、10月8日(月)に現地見学会を行いました。

上の家の現地見学では、初めて内部に入った方も多く、実際の間取りや広さを確認しました。昔を知る方から、増築部分は以前、文房具屋であったことや、本来の母屋はどこまでかを詳細に確認することができました。



営林署跡地

営林署跡地は敷地の高低差、井戸の位置、四阿を置くことよい場所を確認、旧湯小や支所と上の家をつなぐことが確認されました。



上の家

実際に縁側カフェとして利用するイメージを膨らませた他、文学の郷の入り口としての役割を持たせようといった話が出ました。

# 上の家活用検討部会

※下の図は、12月4日時点での検討結果を図にしたものであり、整備の確定図面ではありません。今後の検討により随時更新されます。

